

11 文化・レク活動の取り組み

文化・レク活動は、スポーツや趣味を通じて組合員相互の親睦を深める重要な取り組みです。あわせて、若手組合員の増加に伴い、組合活動の入り口としての取り組みでもあります。効率的な経費執行に留意しながら活動を充実していきます。

また、地方においても本部レク大会の予選の開催や、「JR西労組総合生活サポーターブック」に掲載するクラブチーム等の連携、活性化を進めるなど、活動の裾野を広げ、組合員相互の交流を図れる取り組みを行います。

なお、今年度の具体的な日程等については9月に開催する「第1回文化・レク対策委員会」において決定します。

(1) レクリエーション活動の取り組み

本部のレクリエーション活動は10種目の大会を開催しています。昨年、硬式テニス大会において、女性組合員が参加しやすいようにルールの見直しを実施してきました。種目によっては女性組合員が多く参加していただきましたが、さらに女性組合員が参加しやすいルールの改正など、連盟活動と重複した種目の課題など新たな課題も浮き彫りになってきました。今後、各地本・総支部のレク担当ならびに各種目経験者と協議し、要綱の見直しなどを行うことや、種目の変更も含めた改革を行うことを検討するなど課題の解決に努めながら充実、活性化を図っていきます。

(2) 文化・文芸作品募集の取り組み
昨年度と同様、「文化・文芸コンクール」では共通テーマを設け、写真部門、川柳・標語部門、その他作品部門(ポストター・プラカード・シヨートムービー等)で組合員とその家族を対象に募集し、コンクールを実施します。また、共通テーマを設けない一般作品の募集として、書道・絵画部門、短

<2017年度のレクリエーション活動計画(予定)>

種目	開催日	開催地本
第13回 軟式野球大会	2017年 11月 8~9日	金沢地本
第10回 ボウリング大会	2017年 11月 27日	神戸地本
第15回 卓球大会	2018年 2月 14~15日	和歌山地本
第10回 バレーボール大会	2018年 4月 9~10日	岡山地本
第10回 綱引き大会	2018年 5月	米子地本

歌・俳句部門の募集を行い、コンクールは行いませんが、出品作品を定期大会の会場に展示して紹介します。

(3) 第21回 JR京都駅ビル大階段駆け上がり大会の開催

昨年は、第20回の記念大会として100チーム400名規模に拡大して開催してきました。今年度で21回を迎えるJR京都駅ビル大階段駆け上がり大会は、国際都市京都の冬の風物詩として社会的にも定着しているほか、春季生活闘争の前哨戦としてJR西労組はもちろん、グループ労組も積極的に参加できる大会となっています。今年度は、2018年2月に開催する予定であり、大会の成功にむけて万全の準備を進めます。



12 法律対策活動の取り組み

(1) 法律対策活動

組合員に対する福祉の一環として取り組んでいる法律相談については、7名の顧問弁護士に対し、債務関係や

氏名	事務所所在地	担当エリア
相馬 達雄	大阪市北区	近畿圏及び全組織的な課題
丸山 哲男	大阪市北区	近畿圏及び全組織的な課題
岩淵 正明	金沢市	金沢地本を中心とする北陸地域
高橋 裕	岡山市	岡山地本を中心とする山陽地域
太田 正志	米子市	米子地本を中心とする山陰地域
船木 孝和	広島市中区	広島地本を中心とする山陽地域
春山 九州男	福岡市	福岡地本を中心とする九州地域

(JR西労組顧問弁護士)

家庭問題を中心に多くの相談が寄せられています。組合員の利益を守るために、顧問弁護士との契約を継続し、合わせて、各級機関役員特に分会役員が、所属組合員のトラブルや異変にいち早く気づき、被害を最小限に食い止められるように、法律相談を活用できる体制を確立します。

(2) 様々なハラスメント防止の取り組み

現代の社会において、セクシュアルハラスメントをはじめ様々なハラスメントが30種類以上もあるといわれています。職場におけるハラスメント防止に世話役活動の一環として役員として対応することはもちろん、組合活動においても「しない・させない」体制を確立すると共に、部外セミナーへの参加や様々な啓発活動を通じ、ハラスメントを未然に防止する取り組みを推進します。

13 JR西労組国際連帯活動の取り組み



(1) JR西労組国際連帯活動の取り組み

他国の労働組合役員や働く仲間との交流を通じて、相互理解と友好・信頼関係を構築

することは、民間外交の観点から非常に有意義な活動であり、訪問国の社会情勢及び歴史や文化に触れることで国際的視野を広げ、今後のJR西労組運動や社会生活に大きく寄与するものと

と考えます。JR西労組運動を推進するうえで、労働組合として国際労働運動を学ぶことは非常に有益であると認識の下、昨年度まで22回の国際連帯活動を実施してきました。

今年度の第23回国際連帯活動は、2018年5月に金沢、大阪、神戸、米子、福岡の各地本と本社総支部選出役員で派遣団を結成し、第20回以来の台湾を訪問し、臺灣鐵路工會(台湾鉄道労働組合)との交流や現地鉄道施設の見学などの国際連帯活動をおこなうこととします。なお具体的には、来年2月開催予定の第36回中央委員会

8 政治活動の取り組み

1 JR西労組の政治方針

JR西労組は、政治と私たちの関わり的重要性を再認識したうえで、引き続き、私たちの政策課題を解決し、JRをはじめとする鉄道や公共交通を将来にわたり健全に発展させ、雇用や労働条件を維持、改善するため、働く者の切実な声を反映できる政治を築いていくためにも、組合員と家族へJR西労組の政治方針についても理解を広め、JR西労組が推薦する議員に確実に投票してもらえらるよう、足元を固める取り組みを進めなければなりません。また、各種選挙においては、JR西労組議員団会議の議員をはじめとする推薦議員を議会に送り出すために全力をあげて取り組みます。

(JR西労組の政治方針)

(1) 基本方針

私たちの運動の理念・政策・目的などに理解を示し、支持・賛同する議員との関係を強化し、政治的課題の解決にむけて取り組みます。

(2) 政治活動の考え方

政治活動は「非自民、反共産」を原則として、連合、JR連合の政治路線を基本に取り組みることとします。議員および政党との繋がり、政治的課題の解決を目的として、JR西労組の綱領、運動方針、政策課題に理解を示し、支持・賛同する者との協力関係を強化します。

(3) 国政選挙への対応の考え方

- ① JR西労組の政治の基本方針、当面する政治活動の考え方を前提に、取り組みを進めます。
 - ② 選挙活動は、組織内において混乱を生じさせないことを最優先し、組織の団結とJR西労組の発展を第一義に取り組みます。次いで、推薦候補の基本方針を重視することとします。
 - ③ 「政治対策委員会」を継続して設置し具体的対応を協議しながら取り組みを進めます。
 - ④ 推薦候補の基本方針
- 連合、JR連合の推薦候補とします。
 - 過去の経緯を尊重しつつ、JR西労組の綱領・運動方針に賛同する政治家個人を推薦します。
 - JR西労組の方針に基づき地方本部が推薦する候補

補者は、中央執行委員会組織としての推薦を決定します。

(2) その他国際連帯活動の取り組み(省略)

補者は、中央執行委員会組織としての推薦を決定します。

(4) 地方選挙推薦候補の基本方針

- ① JR西労組議員団会議の会員が立候補する場合は、組織内公認候補として選挙闘争を進めます。
- ② 会員以外の立候補者の推薦・支持は、地方本部・支部の決定に基づきます。

(5) 投票行動の徹底

政治の改革、あるいは連合が目指す「働くことを軸とする安心社会」の実現のためには、まず、社会の構成員として投票を行う義務があります。JR西労組として、機関紙や組織ニュースなどを通じて組合員・家族への方針の理解と期日前投票を含めた投票の徹底、棄権の防止を呼び掛け、政治参加の促進を引き続き積極的に進めます。

2 政治意識の醸成と次期衆議院選挙の対応について

次期衆議院選挙では参議院選挙に続き、JR西労組組合員全員が投票可能となります。JR西労組議員団会議所属議員8名が、この1年間で改選を迎えることから、JR西労組議員団会議所属議員との対話を深める取り組みを実施するなど、全ての組合員が、政治と自分たちの暮らしや仕事との関わりを意識することが出来る取り組みを行います。

次期衆議院の解散については、今後、衆議院の解散時期を見極め、どのような時期に解散されても対応できるように取り組んでいくこととします。

なお、JR西労組第一次推薦候補者と重点候補者(JR連合国会議員懇談会幹事・元幹事)を中央執行委員会推薦決定しました。

3 議員団会議等との連携強化について

(1) JR西労組議員団会議との連携
地域に根ざした鉄道・バス事業に従事する私たちにあって、地方政治は非常に大切な役割を担っており、「交通政策基本法」の成立を受けて、公共交通を活かし、まちづくりや地域活性化の取り組みの重要性が高まる中、自治体や住民の積極的な参加や協力が求められています。